

地域のかお シリーズ75



「身に付けさせたい3つのこと」

宮崎市立佐土原小学校
校長 岩本 恒男

4月の定期異動により佐土原小に赴任しました岩本恒男です。令和3年度のスタートにあたり、佐土原小全員（児童と教職員）で目指すスローガンを2つ作りました。「学び続け、成長し続ける佐土原小学校」と「登校するのが楽しい佐土原小学校」です。児童はもちろんのこと教職員も率先して学んで成長し、児童にとっても教職員にとっても明るく楽しい学校にしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年の夏はオリンピックとパラリンピックが行われました。私は、選手の皆さんの頑張りに、テレビの前で思わず声を出したり拍手をしたりするほど夢中になりました。両大会では、特に3つのことに感銘を受けました。

まず、感謝の心です。選手の皆さんは、勝敗にかかわらず、大会の開催、関係者・ボランティアの皆さんの尽力、応援して下さった方への感謝の言葉を述べていました。一流の選手の皆さんは、感謝の心を大切にしているのがさすがだと思いました。

次に、礼儀です。選手の皆さんは礼を大切にしていました。オリンピックの女子ボクシングでは、入江選手が金メダルを獲得しました。入江選手は、決勝戦で入場してから退場するまでに、何と67回もお辞儀や会釈をしていたそうです。審判に注意されても腹を立てずに、審判に礼をする姿もありました。入江選手をはじめ選手の皆さんは、すばらしい心の持ち主だと感じました。

パラリンピックでは、レジリエンスという言葉を目にしました。逆境から粘り強く立ち直る力、再起する力という意味だそうです。それぞれが、それぞれのレジリエンスのもと挑戦し続ける姿には感銘を受けました。そして、レジリエンスは、これからの予測困難な時代を生きていく児童にも大切な力だと思いました。



私は、今回感銘を受けた「感謝の心」「礼儀」「レジリエンス」を、保護者・地域の皆様のご理解、ご協力をいただきながら児童に身に付けさせたいと改めて考えています。皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

